

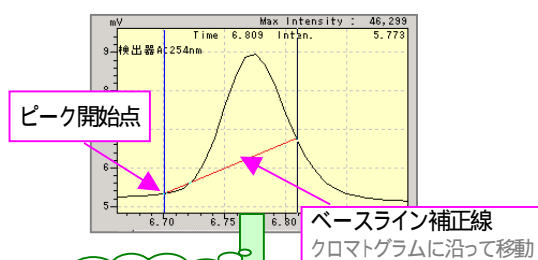
検出されていないピークを検出する(ピーク挿入)

[メソッド]メニュー - [波形処理コマンド]の設定ではうまく検出できなかったピークを、時間を指定して検出するのが[ピーク挿入]です。希望する位置にピークを挿入します。

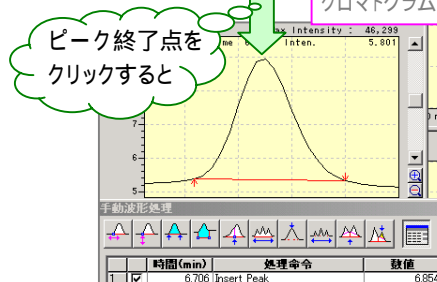
- (1) [手動波形処理ツールバー]から[ピーク挿入]ボタンをクリックします。



- (2) マウスの位置に縦線が現れますので、挿入したいピークの開始点をクリックします。青色の縦線が表示され、縦線(青色)とクロマトグラムが交差する位置がピーク挿入開始点として認識されます。



- (3) ベースライン補正線(赤色)が表示されるので確認しながら、マウスをピークの終了点へ移動して、クリックします。ピーク挿入終了点に青色の縦線が表示されます。



- (4) 手動波形処理が実行されて、その値が手動波形処理テーブルに追加されます。同時に、ピーク挿入開始点と終了点の青色の縦線は消え、ピーク検出点が現れます。

テーブルに値追加

[注意]

- ・ 追加したコマンドの有効な範囲は、処理したデータ限りです。メソッドには反映されません。
- ・ [ピーク挿入]では、デフォルトでは[データ処理パラメータ]の[最小面積/高さ]は考慮されません。(考慮させたい場合は、[データ処理パラメータ] [波形処理]タブの[詳細ボタン]をクリックし、[波形処理 詳細設定]画面を開きます。[最小面積/高さを手動波形処理で有効にする]チェックボックスを ON にします。)

[備考]

・ 垂直分割ピークを挿入したい場合は、[ピーク挿入(強度軸指定)]をお使いください。

・ テーリング上(またはリーディング上)へピークを挿入することも可能です。ただし、二重テーリングや二重リーディングは挿入できません。

